

災害発生後の国土交通省の取り組み①（TEC-Forceによる現地調査）

平成30年 7月豪雨

- 全国で2581件の土砂災害が発生。死者119名、家屋全半壊924戸。特に広島県では1242件の土砂災害が発生。
- 1府5県に砂防班をのべ1163人・日派遣。うち、広島県には679人・日派遣

広島市における被災状況調査



新潟県村上市の
UAVを用いた調査



令和4年8月
新潟県村上市

平成29年7月 九州北部豪雨

福岡県朝倉市における
被災状況調査



北海道厚真町における
災状況調査



砂防被災状況調査

平成30年9月
北海道
胆振東部地震

災害発生後の国土交通省の取り組み②-1（災害関連工事 R6.1.1能登半島地震）

○災害の規模が特に大きい、あるいは技術的に対応が困難な箇所について、国土交通省が直轄事業により災害関連工事を実施

内陸部の4箇所(赤丸) : 河道閉塞が発生しており技術的に対応が困難

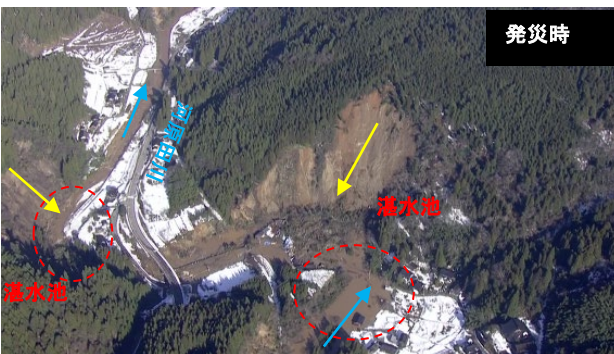
国道249号沿いの4箇所(緑丸) : 発生した地すべり災害の規模が非常に大きい

国道249号沿いの3箇所(黄丸) : 石川県主体の地すべり災害箇所だが、国が一連で実施する方が効率が良いことから、国が権限代行工事で実施

①輪島河原田川市一ノ瀬



②輪島市河原田川熊野



2/16 能登復興事務所設置



③石川県珠洲市清水町



④石川県珠洲市仁江町



災害発生後の国土交通省の取り組み②-2（災害関連工事 R6.1.1能登半島地震）

河原田川一ノ瀬地区
河道閉塞対応



仮排水路により
湛水を低下

仮排水路



町野川支川 牛尾川
緊急対策として
ブロック堰堤を設置



町野川支川 寺地川
緊急対策として
ブロック堰堤を設置



全国における住民主体の取組事例①（新潟県村上市 昭和42年 羽越豪雨）

○新潟県の羽越地方は、昭和42年の羽越豪雨で大きな被害が発生（死者・行方不明者138人、家屋全半壊857棟、床上浸水26,641棟）

○その後、この災害を後世に伝承する行事が各地で実施

村上市小岩内地区：収穫祭 … 避難訓練を兼ねており、令和4年豪雨時の災害でも迅速な非難が実施され人的被害ゼロ

関川村：たいしたもん蛇祭り … 祭りへの参加を通じて、子供たちにも地域が災害の危険性のあるところという事が認識されている

新潟県村上市小岩内地区で続く避難訓練を兼ねた「収穫祭」



令和4年8月の豪雨
による土砂災害（人的被害ゼロ）



新潟県関川市で続く「たいしたもん蛇祭り」
藁でつくられた蛇としては世界一（ギネス認定）



全国における住民主体の取組事例②（長野県伊那地域 36年災害）

- 長野県の伊那地域では、昭和36年の豪雨災害で大きな被害が発生（死者・行方不明者136名、家屋の全壊・半壊1,500戸）
- 長野県伊那市の長谷地区では、この災害から50年の節目となる平成22年に、災害を後世に伝える新たな取り組みとして、地域伝統の「中尾歌舞伎」の演目に、『三六災害半世紀』という新作歌舞伎を創作に着手。
- 平成24年4月29日に初めてお披露目がなされ、以後4年ごとを目途に繰り返し上演し、地域の人々にこの地の災害危険性を伝承



歌舞伎で使用された**大蛇**（土石流）は、**広島**の**神楽**団から譲りうけたもの



幼いころの豪雨災害で土石流（大蛇）に飲み込まれて亡くなる妹

成長した兄は、再び村を襲いに来た土石流（大蛇）を義理の弟とともに倒す

全国の防災教育の事例

教職員を対象とした防災教育（効率性が高い）



←テキストの例



県教育委員会主催の教職員を対象とした講習会
(広島県砂防課)



教職員のための防災教育ブックレット（左）
東日本大震災の伝承（東北地整と宮城教育大学の連携）



小学校教員に対する「防災講演」
(宮城南部復興事務所)

子供達をを対象とした防災教育（確実な効果が期待）



砂防教室（土石流模型実験）
(多治見市、多治見砂防国道事務所)

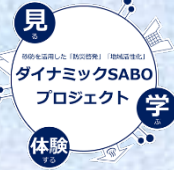


十勝岳火山砂防情報センター見学会
(美瑛町、北海道開発局)



土砂災害に関する副読本の作成
(千葉県)

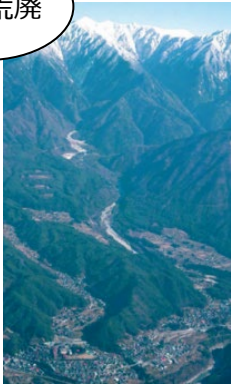
砂防を活用した「防災啓発」と「地域活性化」を融合した取り組み



～ダイナミックSABOプロジェクト～

【課題】

山の荒廃



土砂災害
による被害



土砂災害の危険性や、砂防施設の効果を十分伝えられていない。

【期待】

砂防堰堤
等の整備

観光資源・拠点



自分事として
防災意識の啓発！

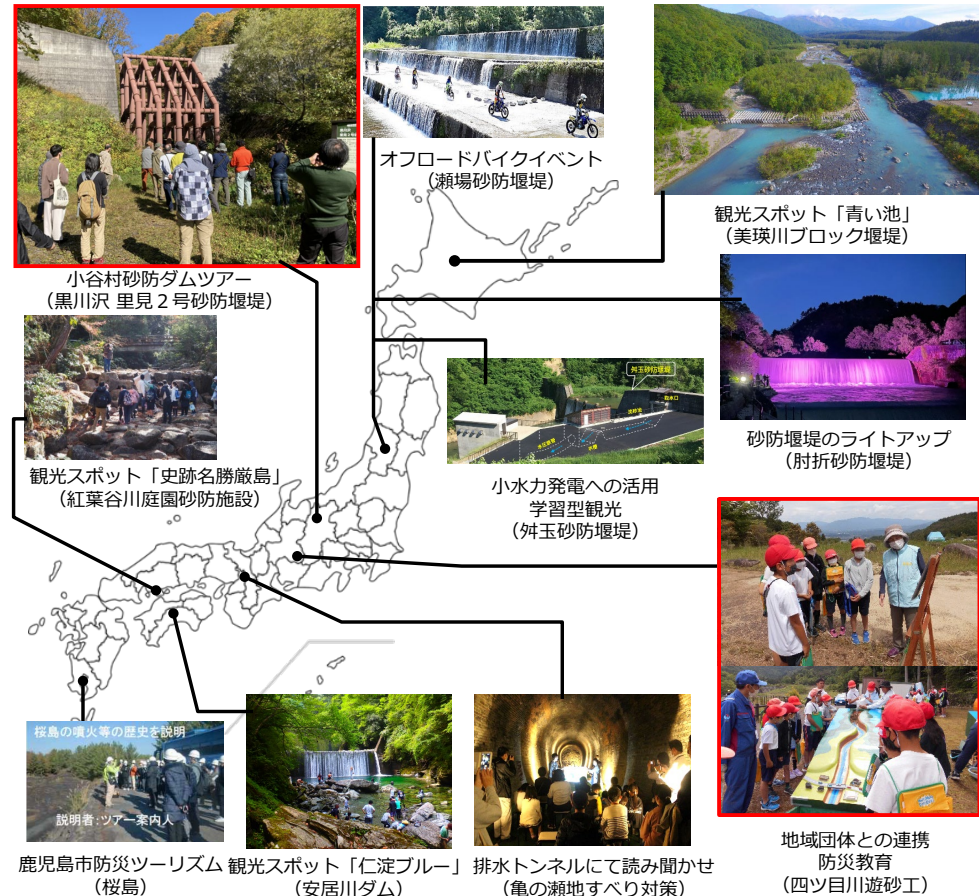
風光明媚な自然の中に存在する砂防堰堤の持つ、機能美や非日常的な存在感に関心を持ち、もっと知りたいという人も多い。

【取組】

ダイナミックSABOプロジェクト

砂防を見て・学んで・体験する資源として活用し、「防災啓発」「地域活性化」の取り組みを支援！

➢ 先進事例を収集・分析し、仕組み等を発信・共有することで全国各地への更なる展開等を図る。

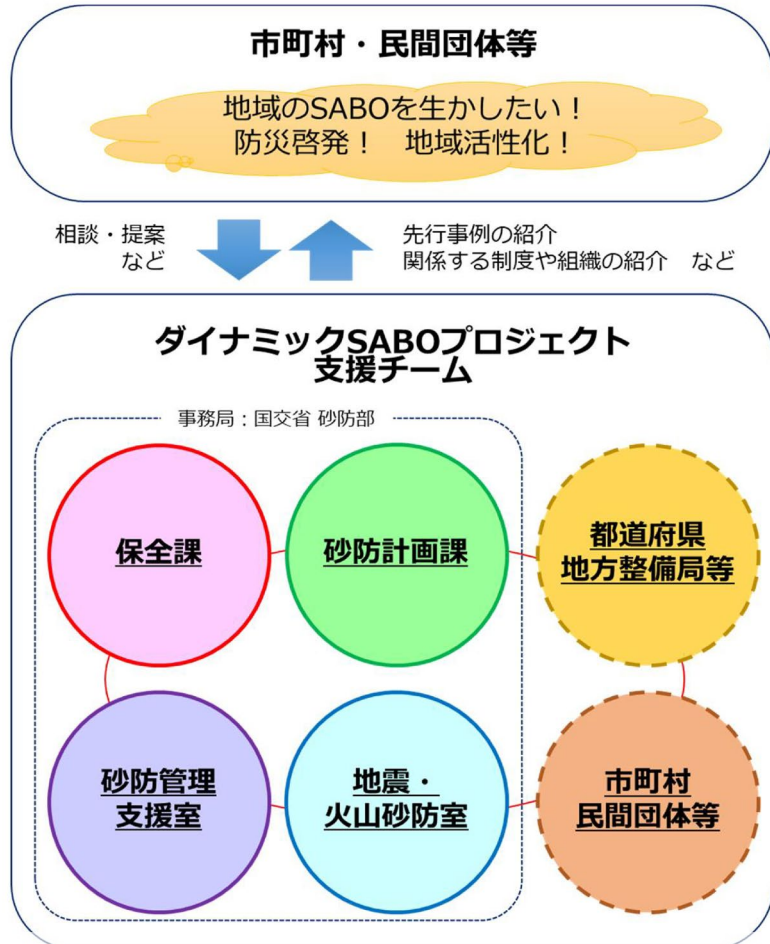


「ダイナミックSABOプロジェクト」の取組内容



- 国土交通省砂防部が事務局となり。関係都道府県や地方整備局とともに、取組事例や課題の共有・情報交換を行う
- 対応案等を検討することを目的とした「ダイナミックSABO支援チーム」を設置
- 具体的な取組事例の横展開を図るため、関係機関に内容を確認のうえ、事例集を作成。

➤ ダイナミックSABO支援チームの設置



→民間団体と自治体とのコネクションを支援

➤ ダイナミックSABO事例集の作成



→利用に当たっての留意点や活用方法を共有